

令和5年5月24日

5月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調で共販所では一部入荷を待ってもらっている。製材業者の引き取りが間に合わず土場を圧迫している。スギ3m柱材は16,000円台から17,000円に若干上昇。中目材は16,000円前後で安定した推移。ヒノキ3m柱材は27,000円前後、4m土台材は29,000円台で推移。中目材は26,000円後半まで上昇。

群馬では全体的に出材が減少し、原木価格は上昇傾向。工場はフル操業だが、人手不足で生産が伸びない。引き合いは全般的に順調で土木用材の受注が多い。プレカット工場への納材も順調。下地材、貫、胴縁等の在庫がない。ラス下、バタ角、野地板の引き合いが多いが在庫がない。製品価格は高値安定で推移。

2. 米材

産地では米国内の原木価格が高原状態で推移しているが、伐採は順調で不足感は見られない。カナダBC州では立木価格の高騰と州政府による伐採制限で原木供給が限定的である一方、米国向け製材品生産が好調なため、原木需給が逼迫しており、港頭在庫は低水準で推移。米国の港頭在庫は積み上げまでには至っていないが、輸出用原木が不足する環境にはない。米マツIS級並の5月対日輸出価格(推定)は急進する円安によるコスト高を背景に小幅下げの\$1,330/千SCRで妥結した模様。米国の住宅着工は好調であるが、製材品価格の高騰と金利上昇の影響で現地市況は様子見の動きである。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(5/9)は\$971/Mで4月頭に比べ14.4%の下落。今月の港湾労使交渉の結果次第では現地物流に影響が出る模様。

3月原木入荷は201千 m^3 で今年最高、1~3月累計では541千 m^3 (前年同期比0.9%減)、出荷は192千 m^3 となり入荷同様に今年最高、1~3月累計は531千 m^3 (同2.1%減)、在庫は若干増加し128千 m^3 となり、在庫率は0.73ヵ月と1ヵ月割れが継続。東京木材埠頭の4月製品入荷は20千 m^3 (前月比36.6%減)、出荷は20千 m^3 (同8.2%増)、在庫は58千 m^3 (同0.6%減)。住宅建築が構造用合板や什器の不足により抑制され、国内米材工場の荷動きは落ち着いている。割物は代替材との価格競争力が無く荷動きは鈍い。国内米材製材最大手の4月中旬に予定されていた価格の引き上げは見送られたが、円安がさらに進む

場合には価格改定(値上げ)も予想される。

3. 南洋材

サラワク州では天候が順次回復している。伐採許可が発給されるまで時間がかかっている。一部シッパーは許可が下りず、伐採がストップしている。次回の日本向けは6~7月を予定。PNG北側の天候ははっきりせず、山側では降雨が続き原木生産は進んでいない。サバ州の輸出用原木は大半が二次林、三次林中心で製材用の太物良材は少ない。実際に未だ輸出されていない。フリー板のマーケットは悪いが、現地価格は燃料や接着剤の高騰で下がらない。5月予想の原木入荷は7千 m^3 、出荷は7千 m^3 、在庫7千 m^3 。製材品入荷は27千 m^3 。

4. 北洋材

産地シッパーは受注残の出荷にウラジオストク港からの船積み確保に苦戦し、日本到着までに時間がかかっている。輸入商社では新規契約を見送るところ、支払いを到着ベースに遅らすところが増えており、シッパーの資金負担増となっている。アカマツ原板は輸送問題、円安進行もあり、纏まった成約には至っていない。アカマツ現地挽き野縁製品は新規成約を控えている。円安や関税アップ(4.8→8.0%)で円建てコストはかなり高くなる。ウクライナ侵攻直後には仮需が発生したが、4月に入り荷動きは落ち着いている。国内製材工場では今後の原料調達、契約残の無事履行の問題に直面している。4月の荷動きはロシア材離れもあり一服感が見られる。3月の製品入荷(東京+川崎)は遅延分が入港し26千 m^3 と増加、出荷は23千 m^3 と仮需もあり大きく回復した。在庫は49千 m^3 と増加したが、先行き入荷減により在庫は減少に向かうと予想される。

5. 合板

合板用原木の国産材価格は3~4月に大幅に上昇。出材期のため合板工場の在庫は一時期に比べ増加した。スギは増加したが、カラマツが引き続き不足。ロシア単板の禁輸により各メーカーは代替材を模索している。米材は原木の出材が減少し産地価格の大幅な上昇の影響により輸出向け価格もさらに値上げになる。

3月の国内合板生産量は28.0万 m^3 、うち針葉樹合板は27.4万 m^3 、出荷量は27.2万 m^3 で在庫量は9.5万 m^3 、うち構造用合板の在庫は7.4万 m^3 、在庫率0.3ヵ月とかなりの低水準。工場では人員不足が続いており、生産効率も上がらず、ロシア単板の影響により一部メーカーでは生産を落としている。針葉

樹合板の価格は5月も値上がりが確定。輸入合板は産地価格の上昇に円安が加わり値上がりが続いている。針葉樹合板の品不足により12mm系の値上げが加速している。特にラワン構造用合板、塗装合板、下地合板に品薄感がある。3月の合板輸入量は21.9万 m^3 (前月比16%増)となり、特にインドネシア産が増加。首都圏だけではなく全国の港で倉庫のキャパが限界になっている。インドネシアでは天候不順で原木不足が続いており、4月の原木価格は前月比2割アップとなり、合板価格は高値が継続している。マレーシアでは一部工場でおミクロン株の感染拡大が聞かれる。原料、労働力の調達に苦慮しており、合板生産量は頭打ちの状態が続いている。

6. 構造用集成材

ラミナは前年第3・四半期以降分が入港しており、港での保管を余儀なくされている。コンテナ船の動きは安定してきたので、今年第1・四半期契約分が入荷する6月頃まではラミナ確保に懸念材料はない。第2・四半期の契約価格は欧州内の需要増により $\text{€}570\sim 600/\text{m}^3$ 程度。さらに急激な円安ユーロ高で輸入コストは上昇する見込み。夏以降は港着90,000円/ m^3 を超える。輸入集成材も遅延分が入港し、国内流通価格は145,000円/ m^3 周辺。今回のウクライナ情勢でEU内の需給バランスが崩れ、日本等への輸出量が減る可能性がある。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強いが入荷は低調。解体材は発生、入荷ともに例年並みだが、先行きタイト感が強い。大手のボイラーの定期修理のため、集荷に一服感がある。製紙用では国産針葉樹チップの増集荷基調は継続しているが、各社のタイト感は解消されない。燃料用は例年に比べ余剰感がなく、在庫が増えない。大手製紙は4月より製品チップ、燃料チップともに価格改定(値上げ)を実施した。

8. 市売問屋

連休前の駆け込み需要は余りなかった。一戸建ての国産材のKD構造材の荷動きは少ないが、増改築用の材は動いている。また土木用材(9.0cm角 \times 3.4m、10.5cm角 \times 4m)の荷動きが良い。スギ割物(貫、胴縁など)の荷動きは良いが入荷が少ないため、ここに来て一段の値上げになってきた。

9. 小売

ウクライナ情勢の出口が見えないことから全体的に停滞感がある。資材の納期遅延は相変わらずで、工務店ではリフォーム等の予定はあるが、住設機器の納期の目途が立たず、動けない業者が多い。東北産のスギ貫は丸太不足の影響で大幅な値上げとなった。外材では米ツガ内地挽き(特に3m材)に入荷待ちの状況が続いている。欧州材は大きな変動はないが、今後の情勢次第で

入荷減による先高感が懸念される。ロシア材は販売店、工務店の在庫手当が見られる。造作材では輸入材を中心に引き合いが強まっている。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和4年5月24日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	→	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

注) 北洋製材品は東京・川崎

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	↗
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	↗
			ヒノキ柱角(KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40上級 アカマツ(KD) 16×40上級	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
		10.5×10.5×2.98m	↗	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 型枠 12.0mm厚 3×6 針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→
	欧州産	//		↗